



健康と温泉フォーラム 第49回月例研究会のご案内

- 主催：NPO法人健康と温泉フォーラム 地域活性学会 NPO法人日本スパ振興協会
- 日時：2015年1月27日(火) 13:30~17:00 (受付13:00から)
- 会場：PHP研究所東京本社2階会議室 (東京都千代田区1番町21番地
1番町東急ビル：東京メトロ半蔵門線半蔵門駅5番出口すぐ上)
- テーマ：「和食」からユネスコ無形文化遺産の意義を考える
—日本の伝統的な食文化を—正月を例として—
- プレゼンター：神崎宣武 (文化庁文化審議委員・旅の文化研究所所長)

プロフィール

1944年 岡山県生まれ

武蔵野美術大学在学中より宮本常一に師事

以降、国内外の民俗調査・研究に従事

陶磁器技術伝播の調査と民具の収集に始まり、食文化に展開

旅への関心は、フィールドワークの体験と旅先で出会った行商の人たちとのつきあいから

郷里の吉備高原では神主でもある

旅の文化研究所所長

日本民俗学会会員

文化庁文化審議会委員

五十鈴塾塾長

主な著書

吉備高原の神と人 (中央公論社)

日本人は何を食べてきたか (大月書店)

しきたりの日本史 (角川学芸出版)

酒の日本文化 (角川学芸出版)

『湿気』の日本文化 (日経)

おみやげ-贈答と旅の日本文化 (青弓社)

ちちんぷいぷい-『まじない』の民俗 (小学館)

三三九度-日本的契約の民俗誌 (岩波書店)

江戸の旅文化 (岩波書店)



- 講演概要：ユネスコ提案名称：和食 日本の伝統的な食文化—正月を例として
提案内容：<定義> 「自然尊重」というの本人の精神を体現した、食に関する社会的慣習として提案
<内容> 1. 新鮮で多様な食材とその持ち味の尊重
2. 栄養バランスに優れた健康的な食生活
3. 自然の美しさや季節の移ろいを表現した盛りつけ
4. 正月行事などの年中行事との密接な関わり
年中行事と密接に関係して食事を時間を共にする社会慣習
(平成25年12月5日文化庁発表資料より)



■プログラム（予定）

1300	受付
1330~1400	背景説明
1400~1500	講演
1500~1515	休憩
1515~1645	質疑
1645~1700	まとめ閉会

■定員 60名

- 参加費 2000円（健康と温泉フォーラム、地域活性学会、日本スパ振興協会各会員）
3000円（一般）
無料（学生・報道） 当日受付でお支払いください。

■お申込み・お問い合わせ

NPO法人健康と温泉フォーラム事務局までE-mailまたはFAXにてお申込みください。定員先着60名とさせていただきます。

E-mail info@onsen-forum.jp TEL&FAX 03-6804-8575

E-mail info@onsen-forum.jp Fax 03-6804-8575
NPO法人健康と温泉フォーラム事務局宛

参加申込書（各□に✓をお願いします）

- 第49回月例研究会（2015年1月27日（火））に出席します。

●お名前（複数可）

●団体名

●住所 〒

●連絡先 TEL
E-mail

FAX
携帯☎